

CONTENTS

- P2～3 40年前は「孤島」だった!?
- P4～7 海老名の農業
- P8～19 各種案内
- P20～22 情報
- P23 フォトピックス



■ クローズアップ! ■

かかしまつりは、毎年9月に中新田地区（表紙写真）と今泉地区（下写真）の田んぼで行われているもの。その年に話題を集めた人物や題材などを中心に、工夫を凝らした力作が並ぶため、海老名の秋の風物詩として定着しており、市外から訪れる常連さんも少なくないとか。ことしも多くの見物客でにぎわいました。

田んぼの番人でもあるかかしたちは、展示期間中、鳥獣から稲を守るといふ本来の任務も見事に果たしました。来年のかかしまつりが楽しみですな。



40年前は「孤島」だった!?

東側にショッピングゾーンや市街地を有する海老名駅。その西側一帯で、現在、大規模な区画整理事業が進行中です。

もともと広大な農地で、駐車場がいくつか点在していただけのこの地は、市の「海老名駅西口土地区画整理事業」により、約3年後には商業・業務・住宅地区などからなる「市の新しい顔」に生まれ変わります。

海老名駅が現在地に移設されたのはおよそ40年前。当時は西側どころか、周囲全てが農地で、遠くから駅舎を見ると、波打つ稲の大海に囲まれた孤島のようなようだったそうで、今の駅周辺からは想像できない光景です。

同様に、約3年後の駅西側には、今の光景からは想像できない新しい市街地が誕生します。東西を中心に、広大なショッピングゾーンや市街地を有する「海老名駅」しか知らない未来の子どもたちのために、区画整理事業現在進行中の光景を、記憶にとどめておくのも一興かも。